

訓高の広場

No.130

発行／訓子府高等学校

P T A 事務局

印刷／(株)マイプリンター

令和8年3月1日

第74期生 卒業おめでとう





校長 堀井圭司

「これからの社会を 生き抜くために」

私たちの社会は、かつてない速さで変化を続けています。その中で、人はどのように生き、どのように他者と関わっていくのが、改めて問われています。先行きの見通しが立ちにくい時代だからこそ、一人ひとりが社会との関係を見つめ直し、自らの在り方を考え続ける姿勢が重要になっていきます。

技術革新や情報環境の進展、価値観の多様化が進む中、物事を単純に判断することは難しくなりました。このような社会を生き抜くためには、確かな知識や技能を身に付けることが、これまで以上に重要となります。知識があるからこその物事を多面的に捉えることができ、言葉を理解する力があるからこそ他者の考えに耳を傾けることができ、また、自らの考えを言葉で的確に表現する力は、社会の中で信頼関係を築き、主体的に生きていくための大切な基盤です。その上で、自分し、社会とどのように関わっていくのかを考え続ける姿勢が求められています。言葉によって他者をつながる力こ

それが、多様な価値観が共存する社会を支える土台であると考えています。

近年、「ウェルビーイング」という考え方が広く知られるようになりまし。これは、経済的な成功や表面的な成果のみを追い求めるのではなく、心身の健康が保たれていること、自分らしさを大切にできていること、そして他者や社会とのつながりの中で、よりよく生きていけると実感できる状態を指します。自分自身の充実と、周囲との関係性が調和していることが、これからの社会における豊かさの重要な指標になると考えています。

本校では、小規模校であることを強みとして、一人ひとりの生徒の姿が日常の中で自然と共有される環境を大切にしてきました。授業や行事、さまざまな活動を通して、互いの違いを認め合い、相手の立場を考えながら言葉を選び、協力して物事に取り組む姿が随所に見られました。こうした関わりを重んじる実践は、偶然に生まれたものではなく、生徒一人ひとりと丁寧に向き合い、対話を重ねることを意識してきた本校の

教育の積み重ねによるものです。この経験は、多様な人々と関わりながら社会を構成していくうえで、確かな力として生かされていくものと考えています。

社会においては、成果や効率が重視される場面が少なくありません。しかし、持続可能な社会を築いていくためには、「どのような関係性の中で生きていくか」「周囲とどのように関わっているか」という視点が欠かせません。困難や迷いに直面したとき、一人で抱え込まず、周囲と支え合いながら前に進む姿勢もまた、社会の中で生きていくための大切な力であると言えるでしょう。

本校の教育活動が今日まで円滑に推進されてきた背景には、保護者並びにPTAの皆様からの継続的なご理解とご協力に加え、地域の皆様からの多大なご支援があります。学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担いながら連携し、生徒一人ひとりの成長を支えてきたことに、改めて深く感謝申し上げます。本校は今後も、社会の変化を的確に捉えながら、生徒一人ひとりが自らの在り方や生き方を探求し、他者と共によく生きる力を育む教育を推進してまいります。卒業という節目を、未来を見据えた新たな出発点として捉え、教育活動のさらなる充実に努めてまいります。

訓高 後期のあゆみ

- 【10月】
 - 2日(木) 後期始業式
 - 3日(金) 生徒会役員認証式
 - 9日(木) 秋季授業公開週間
 - 6日(月) ふれあい環境DAY
 - 9日(木) 全道高等学校美術展
 - 15日(水) 研究大会(札幌)
 - 16日(木) 1・2年専門学校出前授業
 - 21日(火) 薬物乱用防止教室
 - 28日(火) J A実証農場見学(3年)
 - 31日(金) 見学旅行(2年)
- 【11月】
 - 5日(水) 職場見学(1年)
 - 18日(火) 開校記念日
 - 19日(水) 後期中間考査
 - 28日(金) 事業所セミナー(1・2年)
- 【12月】
 - 1日(月) 職場見学報告会(1年)
 - 9日(火) 大学専門学校見学会(1年)
 - 23日(水) 3年生が語る会
 - 24日(木) スポーツフェスティバル
 - 25日(木) 全校集会
 - 26日(金) 冬季休業(1月18日)
- 【1月】
 - 19日(月) 全校集会
 - 23日(金) 卒業生講話

訓子府高校安心メールのご案内

訓子府高校安心メールのご登録よろしくお願ひします。登録の手順につきましては本校HPをご覧ください。学校までお問い合わせください。

訓子府高校ホームページ
URL <http://www.kunneppu.hokkaido-c.ed.jp/>



- 27日(火) 29日(木) 学年末考査(3年)
- 【2月】
 - 1日(日) 3年生家庭学習期間開始
 - 16日(月) 18日(水) 学年末考査(1・2年)
 - 27日(金) 同窓会入会式
- 【3月】
 - 1日(日) 第74回卒業式
 - 24日(火) 後期終業式・離任式
 - 25日(水) 学年末休業(31日)

「お祝いの言葉」

会長 大越 恵子

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。今日という日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

たかもしれません。それでも皆さんは、自分なりに考え乗り越えここまで来ました。高校生活は一区切りですが、ここで得た出会いや経験は、ここからの人生の土台となります。努力した時間、支え合った仲間、そして挑戦した記憶は、きっと皆さんの背中を押してくれるはず。これから先、社会は大きく変化し、正解

のない選択も迫られる場面も多くあるでしょう。そんなときは、周囲の声に耳を傾けながらも、自分の心の声を大切にしてください。あなたが選んで歩く道には、必ずあなたが信じて応援してくれる人がいます。どうか自分の可能性を信じて失敗を恐れず、あなたらしい道を進んでいってください。

最後に、卒業生保護者の皆様、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。これまでのPTA活動にご理解・ご協力賜り誠にありがとうございます。教職員一同心より願っています。



同窓会長 古沢 栄一

「時には Lett Be」



卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。また卒業生の皆さんをこれまで支えてきたご家族や先生方、関係者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

かりではなかったと思います。辛いことや苦しい事、また登校したくない時、多少なりともあった事でしょう。そのような経験を経て一つの節目でもある高校卒業という名の通過点に達した事は、これからの人生に於いて大きな力となり、また大きな意味があります。先ずはこれまで支えてくれた家族をはじめ多くの方々が、皆さんのこれから先の人生で成功するようにと最大の応援をしてくれたことを忘れてはなりません。そして改めてこの訓子府高校で身に着けたスキ

ルや経験が大いに活かされることを願っています。さて、ここで私から卒業する皆さんに贈りたい言葉があります。それは「Lett Be」です。あの有名なバンド、ビートルズの曲名ですが、訳するとあるがままに、そのままという意味です。きっと皆さんはこれからの世の中を変えていこうと希望に満ち溢れているかも知れません。その為にベストを尽くす。それは大変良い事なのですが、一方でなかなか現実には簡単なはいかない場面が多くあります。そんな時この言葉、曲があれば自分を落ち着かせられるのではないのでしょうか？どんな状況に直面しても自分に、自分らしくあるがままの自分を受け入れて、そしてそこから一歩ずつ歩き出して下さい。因みにこの言葉と似た曲もあり

ます。私の中では『ケセラセラ』ドリス・デイ、『Take It Easy』イーグルスです。（年代が古くてすみません。）是非一度聴いてみて、ライブラリに追加してみてくださいいかが？これから卒業される皆さんは訓高同窓会員として私達の仲間になります。同窓会は母校の応援は勿論ですが、この訓高で過した仲間を繋ぎ、年代に関わらず互いに絆を深められればと思っております。今後ともよろしくお願い致します。結びになりますが、皆さんのこれからのご健康とご活躍、更には訓子府高校の益々のご発展をご祈念申し上げます。お祝いメッセージとさせていただきます。卒業おめでとうございます。

進路決定状況

(令和8年2月15日現在)

専門学校	9名
公務員	1名
民間	7名
自営	2名
その他	4名
未定	3名



3年生進路決定 おめでとう!!



3年生の スナップ写真



「これまでの3年間を振り返って」

3年 結城 慈音

これまでの3年間を振り返ってみると、最初の頃と比べるとかなり成長したと思います。1年生の頃は、後先考えずに思うままにやることが多くて適当に学校生活を送っていました。クラスも一体感がなく穂積先生の血管が浮き出すことも多々ありました。しかし、時間が経つにつれて授業や学校祭、強歩大会、スポーツフェスティバルなどの行事に一生懸命取り組めるようになり、いろんなことに挑戦してみようと思えるようになりました。

私はたくさんの人に感謝しなければならぬと思いました。教職員の方々や同じ時を過ごした友達、ずっと支えてくれた親、みんながいるからこそ今の自分があると思いました。喧嘩ばかりで波瀾万丈の日々だったけれど、そういつたことから学べることもたくさんあって、私はこのクラスで良かったと思っています。次にみんなと会ったときに訓子府高校での思い出話をしつづらげら笑いあう日が待ち遠しいです。3年間超楽しかったです！また逢う日まで！

「三年生担任より」



3年A組担任 穂積 諒

いつも本校の教育活動を温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。

3年生の生徒たちは、高校生活最後の一年間、自分の夢に向かって一生懸命に歩んできました。専門学校への進学を目指している生徒たちは、「これがやりたい」と思える道を見つけ、オープンキャンパスに何度も足を運びながら、目標に向かって頑張ってきました。授業はもちろん資格試験の勉強にも意欲的に取り組み、春からの新生活に胸を膨らませています。就職を選んだ生徒たちも、採用試験に挑戦し、慣れない面接練習や筆記試験の対策にも真剣に取り組んできました。現在も社会人として新しいスタートを切る準備を着実に進めています。

この三年間で、生徒たちは本当に大きく成長しました。勉強はもちろん、部

「3年間を振り返って」

3年 佐東 海来

私の高校生活での3年間を振り返ると「進取果敢」「継続は力なり」という2つの言葉が当てはまると思いました。中学生までは自分が人前に立つ行動や新しいことに挑戦をするのを避けていました。ですが、高校では初めて生徒会に入り、役職をもちあつて過ごしていく中で、苦手だった人前に立つことを何回もすることにになりました。最初の頃は苦痛でしたが段々となれて自分自身を知っていくと、成長できるきっかけとなりました。その活動の中で、各行事において他の生徒より早めに内容を計画し意見を取り入れたり、しっかりとしたルールを作ったりすることが大変で、生徒会活動が簡単ではないことを知ることが出来ました。

最初の頃の学校生活では、話せる人もいなく、クラスにも馴染めず1日1日が辛かったです。通い続けて行事などを共にしていくと徐々に辛さがなくなり、楽しく会話が出来ようになりました。

私はクラスメイトや先生方に協力や支援などをしてもらい、お世話になりっぱなしでした。感謝もしきれません。忘れられない思い出と経験をさせてくださり、ありがとうございました。

活動や学校行事を通して、仲間を大切にすることや、最後まであきらめない心を学んできました。学校祭やスポーツフェスティバルなどの行事では、みんな力を合わせて一つのものを作り上げる素晴らしさを見せてくれました。時にはうまくいかないこともありましたが、乗り越えてきた姿は、とても頼もしく感じました。

こうした生徒たちの成長は、ご家庭での温かい励ましと、地域の皆様のご支援があつたからこそです。保護者の皆様には、進路のことで悩む子どもたちにも寄り添い、時には厳しく、時には優しく見守っていただきました。地域の皆様には、ボランティア参加の機会や、放課後運動ができる場を提供、そのほかにもたくさんの方の支援をしていただき本当に感謝しております。皆様の温かいまなざしが、生徒たちの自信につながっています。

卒業を迎えますが、生徒たち一人ひとりが新しい場所で元気に活躍できるように、私たち学年団一同、最後まで精一杯応援していきます。これまでのご支援に心から感謝しますとともに、卒業後も温かく見守っていただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



1年間の
あゆみ



「お世話になった先輩方へ」

生徒会長 橋田実悠

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうござい
ます。そして3年間本当にお疲れ様でした。
3年生との関わりの中で学んだことや思い出
がたくさんあります。

私が先輩方と深く関わることになったの
は、生徒会活動がきっかけでした。募金活動
や学校行事など先輩方と交流中で、何事も全
力で取り組み、全力で楽しんでいた姿は今で
も覚えています。特に昨年の7月に行われた
訓高祭では、率先してステージを盛り上げて
いた姿が印象的でした。そんな姿は、行事を
運営していく生徒会としても嬉しく思い、さ
すがは3年生だと感じました。3年生最後の
大きな学校行事であるスポーツフェスティバ
ルでは、クラス全体で声を掛け合い、互いに
応援し競技に挑む姿、全員が優勝に向かう姿
や団結力に挑む姿、全員が優勝に向かう姿
日々の生活の中では、廊下ですれ違った際に
笑顔で挨拶をしてくださった先輩方や話しか
けてくださる先輩方の姿が思い出されます。

これまでを振り返ってみると、挨拶の大切
さや何事も全力で頑張ることの大切さ協力し
合うことの大切さを先輩方から学んできたこ
とに改めて気づきます。そんな先輩方によ
うに私たちも先輩のお手本となり、学びを与
えられるような先輩になろうと思ひ、学びを先
輩方から教わったことを忘れず、これからも
頑張っていきたいと思います。

最後にお世話になった先輩方へ、高校3年
間でいろいろなことがあったかと思ひます。
3年生の進路決定においては、たくさん悩ん
だことや、大変だったことがあったと思ひま
す。高校生活が終わりを迎え、新しい環境に
変わることに不安や悩みがある人もいるか
と思ひますが、訓子府高校で学んだことや気
づきを活かして、どんな困難も乗り越えて
いってほしいと思ひます。この先大変なこと
もあると思ひますが、嬉しいことや楽しいこ
ともあると思ひます。これからの夢に向かっ
て頑張ってください。訓子府高校生徒一同先
輩方のご活躍を心より応援しています。これ
まで本当にありがとうございました。先輩方
が繋いだ伝統を今後も引き継ぎ、より良い訓
子府高校になるよう次は私たちが頑張ってい
きます。



訓高2科キャラリー

見学旅行

「君に届け」～感動&最高のMEMORY～

2年 須藤葵菜

私たちは、10月28日～10月31日の3泊4日の見学旅行で、初めて大阪と京都を訪れました。

京都の清水寺で、舞台から見た景色は私たちに歴史を感じさせ、見学旅行に来た！という気持ちにさせてくれました。金閣寺では、金箔の壁が私たちを映し出すような輝きを持っていて、とても幻想的でした。伏見稲荷大社では、千本鳥居が自然の木々とマッチしていて、神秘的な雰囲気が私たちの心を動かしました。京都の町並みはどこか懐かしい雰囲気が漂っていて、気持ちが落ち着くような感じがしました。

大阪では、にぎやかな景観と活気ある町並みにとても驚きました。道頓堀で食べたたこ焼きは具沢山で熱々の中身が夜の寒さを忘れさせる美味しさでした。楽しみにしていたUSJでは、1日中映画の世界を満喫でき、あっという間に時間が過ぎてしまいました。最終日には、大阪城と海遊館を訪れ、最高の景色とあらゆる魚の躍るような泳ぎを見て、旅の終わりを告げる悲しみのほかに、4日間の疲れが取れるような不思議な感覚になりました。

今回の見学旅行ではさまざまなトラブルを乗り越え、たくさんの人に助けってもらったことで、貴重な経験をさせてもらいました。この経験と感謝を忘れず、今後も頑張りたいと思います。

1年間をふり返って

1年 井 幡 莉 香

私はこの一年、とても変化があった年になったと思いました。まずは、新しい環境です。中学卒業から高校入学がとても大きな変化でした。中学校までは人の入れ替わりがあまり無く、新しく出会う人たちに前に、どうやって話しかけたらいいのかすごく悩みました。入学後数週間は同じ中学だった友達としか話せず、話したくても話せないもどかしい時期がありました。ですが、宿泊研修をとおして、名前を覚えたり勇気をもって話しかけたことで、新しい友達がたくさんできました。今のクラスの人たちは話していてとても居心地が良く、素敵なクラスメイトに恵まれたと思っています。

その後も明るく楽しい学校生活が続いて、初めての大きな学校行事、訓高祭が始まりました。役割分担から発表内容まで、みんなで決めることがわくわくした記憶が残っています。学校祭期間は、みんなでそれぞれ最高のパフォーマンスを完成させるため、頑張っていたと思います。本番では、辛いことや壁を乗り越えた後の達成感から、すごくすっきりした気持ちで終わることができました。

強歩大会は悪天候で中止になってしまいましたが、代わりにミニバレー大会となり臨機応変に対応しみんなで楽しむことができました。

スポーツフェスティバルでは、「この人はこんなのも得意だったんだ」と新たな一面に気づいたり、「やっぱりこの人はこれが上手だ」と見事なプレーがあったり、より一層クラスを理解できたとともに、みんなで一致団結して取り組むことの大切さを再確認できたと思います。

私は、後期からHR委員長をやっていますが、前期のころと変わらず、クラスは明るい雰囲気があってとても居心地が良いと感じています。あと少しで一年が終わると考えると時が過ぎるのがとても早いと感じ、すごく充実した一年だったのではないかと思います。

来年度も、明るく楽しい雰囲気、全員で2年生に向けての準備を整えていけたらと思います。



スポーツフェスティバル

3年 尾 崎 文 哉

今回が高校最後のスポーツフェスティバルでした。その中で私たちは、総合優勝そして楽しむことを目標としてやってきました。今回のスポーツフェスティバルの競技は、バレーボール、男女バスケットボール、バドミントン、eスポーツのスマブラとマリオカートの4種目で実施されました。目標達成のため、クラスのみんなが放課後の練習に参加し、一生懸命に取り組みながらものびのびと練習したので、クラスの絆が深まるのを改めて感じました。

私は、バドミントンに参加し決勝でものすごい激闘を繰り広げたのですが、惜しくも2年生に負けて優勝を逃してしまいました。悔しい思いもありますが、全力を出して負けたので清々しい気持ちでした。

eスポーツでは、全校生徒が盛り上がっていました。3年生は負けてしまったけれど、楽しむことができました。

バスケットボールでは、男子は悔しくも2位になってしまいましたが、女子が優勝してくれて、練習の成果を発揮してくれていました。

そして、クラスが力を入れていたバレーボールの競技が行われました。出場選手が早めにご飯を食べて最後の調整をして臨んだ試合は、3年生が優勝という結果になりました。この3年間のチームプレイの集大成を出すことが出来たと思います。

残念ながら、総合優勝は2年生という結果となってしまいましたが、練習期間から本番まで笑いあり、喧嘩ありの最高のスポーツフェスティバルでした。ありがとうございました。